



令和2年12月7日

小学生への認知症サポーター養成講座について

彦根市では、「認知症の人にあっかいまちひこね」を目指して、認知症を正しく理解し、温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成しています。

このたび、金城小学校4年生が認知症サポーター養成講座を受けられましたので、下記のとおり情報提供します。なお、金城小学校では、4年生が毎年受講しており、今年で4回目になります。

記

日時:令和2年12月1日(火)2・3・4時間目(各クラス45分)

場所:金城小学校各教室(大藪町391)

人数:金城小学校4年生 110人

内容:

◆認知症の症状や認知症の人の気持ち、対応の仕方などを絵本やロールプレイを交えて、認知症について学びました。また周りの人が優しい言葉をかけたり手助けすることで、認知症の人はできることがたくさんあること、認知症になっても優しい人柄は変わらないことを学習しました。

◆また認知症の方が道に迷っている場面を想定したロールプレイをしました。子どもたちは「どうされたんですか」「一緒に帰りませんか？」など、優しく声をかけていました。

◆受講後には、「大切な記憶もすべてなくなってしまうのですか?」「認知症のおじいちゃんがありますが、どうしてあげたらいいですか」など、質問がありました。

◆受講後の感想文には「一番驚いたのは、認知症が脳の病気ということ」「これからは認知症の人に優しく声をかけたりさっき言ったでしょ!と怒鳴ったりする人を注意したいと思います。」「認知症の人に優しく接したら症状が重くなるスピードが遅くなると聞き、周りの人の態度が大切なんだなと思いました」などの声がありました。

◆金城小学校の野村校長は「認知症について初めて知った子どもたちが多かったけれど、図や劇など分かりやすく教えてもらえて、正しい認識ができた。子どもたちの感想のなかでも、優しく対応してあげたい、自分で対応できないときは大人の人に言うなどあり、子どものうちにこのような話を聞くことで、温かい世の中になるのではないか。」と話されています。

◆本講座は「総合的な学習の時間」の一環として学習されています。これまでに車いす体験や点字など福祉をテーマに学んできました。

その他:

◆写真については、データで提供することができますので、お問い合わせください。

◆彦根市内の小・中学校、高校、大学、自治会、企業等へも出前講座を開催しています。ご希望があればお申し込み頂けます。なお新型コロナウイルスの感染状況により中止等をお願いする場合がありますが、感染予防に注意しながら開催しておりますので、ご相談ください。



写真:

<認知症サポーター養成講座の様子>



<絵本の読み聞かせをするキャラバン・メイト(認知症サポーター養成講座の講師)>



<認知症の方が道に迷っている場面を想定したロールプレイの様子>



認知症サポーターキャラバン

マスコット ロバ隊長

問い合わせ先

医療福祉推進課 担当: 堤・関谷

電話: 0749-24-0828 FAX: 0749-24-5870

E-mail: iryoufukushi@ma.city.hikone.shiga.jp